

スリランカなどの現状報告

AMDA「産院不足、支援届かず」

インド洋大津波で被害

を受けたスリランカと、

中米ホンジュラスで活動

する国連NGO「AMDA

A」（本部・岡山市）の

スタッフが現地での活動

内容を報告する「AMDA

Aカフェ」が十五日、県

立図書館（同市丸の内）

で開かれた。約四十人を

前に、女性スタッフ三人

が母子保健や農業支援の

様子を語った。写真。

スリランカは、昨年六

月から二年間の予定で現

地入りする添川詠子医療

調整員が報告。百年以上

続いた民族紛争が、二〇

〇二年に停戦したばかり

の同国は、北東部の貧困

層に支援の手が届いてい

ないという。

看護師・保健師である

添川さんは「産院が不足

し、妊婦は一つのベッド

を二人で使ったり、床で

寝るなどしている。栄養

や保健知識も不足してい

る」と訴えた。

中南米で最も貧しい国

といわれるホンジュラス

は、森林と農業の専門

家、海口光恵さんと庄司

有輝子さんが、野菜栽培

の普及や、果樹、材木用樹

の植林活動を紹介した。

